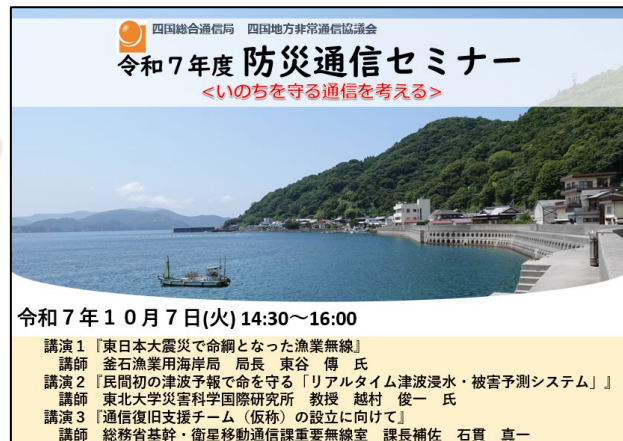


# 「令和7年度防災通信セミナー」

## 「いのちを守る通信を考える」を開催しました

- 四国総合通信局と四国地方非常通信協議会は、令和7年10月7日（火）に、海に囲まれた四国地域において、改めて地震や津波に備えた非常時の通信について考えるためのセミナーを高知県庁で開催し、**四国各県の自治体、企業等から約70名**の参加がありました。
- セミナーでは、**災害から「いのち」を守る通信**についての講演と、リアルタイム津波浸水・被害予測システムの紹介や、公共安全モバイルシステム、衛星インターネット、防災行政無線、簡易無線機など発災時に活躍する通信機器に自由に触れていただける**展示**を実施しました。



令和7年10月7日(火) 14:30~16:00

講師 1 「東日本大震災で命綱となった漁業無線」  
講師 釜石漁業用海岸局 局長 東谷 傳 氏  
講演 2 「民間初の津波予報で命を守る「リアルタイム津波浸水・被害予測システム」」  
講師 東北大学災害科学国際研究所 教授 越村 俊一 氏  
講演 3 「通信復旧支援チーム（仮称）の設立に向けて」  
講師 総務省基幹・衛星移動通信課重要無線室 課長補佐 石貫 真一

セミナーチラシ

### セミナーの様子



四国総合通信局 竹下局長挨拶 高知県 江淵部長挨拶 会場の様子

### 展示コーナーの様子

「リアルタイム津波浸水・被害予測システム」のご紹介や防災通信に関する機器を出展いただき、たくさんの方にご覧いただきました。



当局からも衛星インターネット等を展示。実際に手に取って体験いただきました。

### ■講演1 ※オンラインでのご講演 「東日本大震災で命綱となった漁業無線」

釜石漁業用海岸局 局長  
東谷 傳 氏から

東日本大震災において、岩手県庁へ釜石地区の被害状況、安否情報の伝達及び救急車・ヘリコプターの手配要請を行うなど、漁業無線で船舶や地域住民の安全確保に努めた釜石漁業用海岸局の取組について、当時の写真をふまえながらご紹介いただきました。



### ■講演2 ※オンラインでのご講演 「民間初の津波予報で命を守る『リアルタイム津波浸水・被害予測システム』」

東北大学災害科学国際研究所  
教授 越村 俊一 氏 から

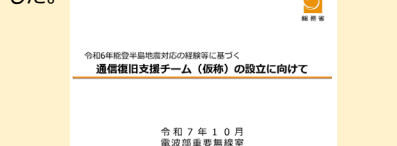
東北大学発スタートアップRTi-castが、令和6年3月から気象業務法における津波予報業務許可を取得し、高知県で運用されている「リアルタイム津波浸水被害予測システム」の技術、活用シーン、意義、将来展望についてご説明いただきました。



### ■講演3 「通信復旧支援チーム（仮称）の設立に向けて」

総務省 基幹・衛星移動通信課  
重要無線室 課長補佐  
石貫 真一 から

通信設備の設定対応等の運用面など、激甚災害下での課題の解決に向け、激甚災害時の通信確保と被災状況把握を官民連携で対応する体制（仮称：通信復旧支援チーム）を検討しているなか、検討における課題等、試行訓練の状況も交えながらご講演させていただきました。



主催：四国総合通信局、四国地方非常通信協議会  
協力：一般社団法人全国陸上無線協会四国支部

【お問い合わせ先】  
無線通信部 無線通信課（陸上関係）089-936-5066